

議会だより



- 議案の審議結果 2
- 議案に対する討論 3
- 陳情等審議結果 4
- 各議員の議案に対する賛否の状況 5
- 委員会の主な審査 6
- 決算審査特別委員会 8
- ここが聞きたい!～会派代表質問&市政一般質問～ 10
- 市議会レポート(塩原地域の現況調査を実施) 18
- 市議会レポート(視察の受け入れ状況について) 19

定例会のあらまし

平成25年第5回那須塩原市議会定例会は、9月6日から9月25日までの20日間にわたり開催されました。

市長からは人事案件1件、平成25年度補正予算案件13件、条例の制定、一部改正及び廃止案件3件、平成24年度一般会計・特別会計・企業会計の決算認定案件11件、計画案件1件、報告案件9件、その他の案件3件の合計41件が提出されました。

議会からは、意見書提出案件2件、その他の案件3件の合計5件が提出されました。

会議日程

9月6日(金)本会議

(開会・議案の提案説明等)

9日(月)本会議(会派代表質問・2人)

10日(火)本会議(市政一般質問・4人)

11日(水)本会議(市政一般質問・4人)

12日(木)本会議(市政一般質問・4人)

13日(金)本会議

(議案質疑・議案等の委員会への付託)

17日(火)～20日(金)

委員会(付託議案等審査)

24日(火)委員会

(予算・決算審査特別委員会全体会)

25日(水)本会議

(委員長報告・採決・閉会)

議案の審議結果

本会議において審議された議案の結果は次のとおりです。
(※報告案件は除く)

平成25年第5回定例会（会期：9月6日～9月25日）

議案番号	件名	結果
同意第8号	人権擁護委員の候補者の推薦について（千本木 武則氏）	同意
議案第59号	平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第4号）	可決
議案第60号	平成25年度那須塩原市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第61号	平成25年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第62号	平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第63号	平成25年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第64号	平成25年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第65号	平成25年度那須塩原市温泉事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第66号	平成25年度那須塩原市墓地事業特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第67号	平成25年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第68号	那須塩原市子ども・子育て会議条例の制定について	可決
議案第69号	那須塩原市公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について	可決
議案第70号	那須塩原市コミュニティセンター条例の廃止について	可決
議案第71号	契約の変更について	可決
議案第72号	那須塩原市黒磯水処理センター・塩原水処理センター長寿命化計画について	可決
議案第73号	災害時相互応援協定の締結について	可決
議案第74号	平成24年度那須塩原市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第75号	平成25年度那須塩原市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第76号	平成25年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第77号	平成25年度那須塩原市水道事業会計補正予算（第2号）	可決
議案第78号	平成25年度那須塩原市一般会計補正予算（第5号）	可決
発議第9号	予算審査特別委員会の設置について	可決
発議第10号	決算審査特別委員会の設置について	可決
発議第11号	那須塩原市議会会議規則の一部改正について	可決
発議第12号	容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について	可決
発議第13号	「原発事故子ども・被災者支援法」の基本方針に関する意見書の提出について	可決
認定第1号	平成24年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	平成24年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	平成24年度那須塩原市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定

(次のページへ続く)

(前のページからの続き)

議案番号	件名	結果
認定第4号	平成24年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	平成24年度那須塩原市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第6号	平成24年度那須塩原市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第7号	平成24年度那須塩原市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第8号	平成24年度那須塩原市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第9号	平成24年度那須塩原市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第10号	平成24年度那須塩原市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第11号	平成24年度那須塩原市水道事業会計決算認定について	認定

討論

討論とは表決（採決）の前に、議題となつている案件に対し、「賛成」か「反対」かの自分の意見を表明することで、意見の異なる相手を自分の意見に同調させ、賛同者を得ようと努めることです。

■認定第1号 平成24年度
那須塩原市一般会計歳入歳
出決算認定について

反対

たかく 高久
こういち 好一議員

骨格的予算は市民の自治活動費やタクシー券を削る一方、効果が疑われるフランス視察を強行するなど、税が市民のために使われていない。

賛成

いそひ 磯飛
まよし 清議員

実質収支は約22億円の黒字決算、財政指数においても全て基準を下回り、前年度に比較しても改善されていることから賛成である。

■認定第2号 平成24年度
那須塩原市国民健康保険特別
会計歳入歳出決算認定に
ついて

反対

たかく 高久
こういち 好一議員

県で二番目に多い国保証の取り上げや短期証の発行はやめ、増え続ける財政基金で高い保険料を引き下げ、市民に還元するべきである。

■認定第4号 平成24年度
那須塩原市介護保険特別会計
歳入歳出決算認定について

反対

たかく 高久
こういち 好一議員

施設入所待機者が226人と多

く、保険料は天引きされても利用ができない。滞納者から3倍の料用を取る制裁はすぐやめるべきである。

意見書

■発議第12号 容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書の提出について

陳情第6号を採択したことを受け、容器包装の発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書を国に提出しました。

■発議第13号 「原発事故子ども・被災者支援法」の基本方針に関する意見書の提出について

基本方針における支援対象地域の指定基準を明らかにすると共に、本市を含む支援対象地域の追加をすみやかに行うよう求める意見書を国に提出しました。



平成25年第5回那須塩原市議会定例会 請願・陳情審議結果

9月定例会で審議された請願・陳情の結果は次のとおりです。

区分	受理年月日	件名	提出者住所・氏名	結果
請願	H25.7.31 (第1号)	市道N2-11(加治屋堀線)と那須疏水加治屋堀の間の路肩改修並びに道路拡幅に関する請願	那須塩原市二区町339 二区町自治会 代表者 豊住 昌隆 他114名	採 択
陳情	H25.5.28 (第5号)	高齢者外出支援タクシー券の存続をを求める陳情	那須塩原市戸田719-4 日本共産党那須塩原市委員会 委員長 片岡 忠幸	採 択
陳情	H25.8.6 (第6号)	「容器包装リサイクル法を改正し、発生抑制と再使用を促進するための法律の制定を求める意見書」の採択を求める陳情書	宇都宮市問屋町3426-30 生活クラブ生活協同組合 理事長 伊藤 三保	採 択
陳情	H25.8.20 (第7号)	那須バイオマスプラントの悪臭に関する陳情書	那須塩原市西岩崎233-901 西岩崎グリーンランド生活環境を守る会 代表 中山 正幸	不採択
陳情	H25.8.26 (第8号)	JR那須塩原駅東口におけるエレベーター設置に関する陳情	大田原市北金丸2600-7 いぎいぎらいふフェスタ実行委員会 代表 鈴木 庸一	採 択

議会用語解説

【請願・陳情とは？】

請願は、国や地方自治体等の公共団体に対し、その団体が担当する事項への希望を申し出ることです。地方議会では、議員の紹介により誰でも請願者として請願書を提出できます。

陳情は、請願とは異なり議員の紹介は不要ですが、法律上の権利行使が保障されたものではなく、その取り扱いは各議会によって異なります。

当議会では陳情であっても、議会運営委員会の判断のもと、請願と同様の処理を行っております。

なお、請願・陳情を「採択」した議会は、その実現に向けて法的拘束力は課されませんが、政治的・道義的責任を負うことになります。

市は県及び事業者に対し臭気対策の働きかけを行っており、住民説明会においても区域内住民に広く説明するよう県に要望している。

反対

齋藤 寿一議員
さいとう しゅうかず

■陳情第7号 那須バイオマスプラントの悪臭に関する陳情書

通院と買い物に9割が使われ、6年で利用が2倍に増えたタクシー券は、市民の要望通り健康維持と外出支援のため存続させるべき。

賛成

高久 好一議員
たかく こういち

討論

■陳情第5号 高齢者外出支援タクシー券の存続を求める陳情

請願・陳情の提出のしかた

市民の皆さんの意見・要望等について、市議会へ請願及び陳情を提出する制度があります。請願・陳情はいつでも受け付けております。当市議会では、年4回(3・6・9・12月)の定例会が開催されており、開会の10日前までに提出されたものが、その定例会で審議されます。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。(☎0287-62-7181)

【請願・陳情は、次の要領で提出してください。】

- ◎あて先(那須塩原市議会議長あて)、提出年月日、及び趣旨・理由等を簡潔に書いてください。
- ◎住所・氏名をはっきり書いて、必ず押印してください。
- ◎請願を提出する場合は、様式に従って紹介議員(那須塩原市議会議員)の記名押印が必要となっています。
- ◎請願者・陳情者が多数のときは、代表者を決めてください。

※受理されたものは、関係する委員会(総務企画・福祉教育・産業環境・建設水道等)で審査をいたしますので、他種類にわたる場合は、別々の請願・陳情として提出していただくことがあります。
※必要により図面(その他資料)を添付してください。

請願(陳情)内容
(趣旨、理由を書いてください。)

平 成 年 月 日 _____
那須塩原市議会議長あて _____
〇〇に関する請願(陳情) _____
紹介議員 _____ 印 _____
(陳情の場合、紹介議員は必要ありません。)
請願(陳情)者 _____
住所 _____
氏名 _____ 印 _____ 他 名 _____

平成25年第5回那須塩原市議会

各議員の議案に対する賛否の状況

・賛否の分かれた案件のみ記載しています。そのほかの案件は全員賛成で可決されました。

議案	TEAM那須塩原										五峰クラブ					公明クラブ			志絆の会		敬清会		日本のひ会		採決結果	
	相馬剛	齊藤誠之	佐藤一則	櫻田貴久	伊藤豊美	松田寛人	君島一郎	人見菊一	中村芳隆	磯飛清	齋藤寿一	金子哲也	若松東征	玉野宏	星宏子	鈴木紀	吉成伸一	平山啓子	鈴木伸彦	眞壁俊郎	植木弘行	大野恭男	相馬義一	高久好一		山本はるひ
認定第1号 平成24年度那須塩原市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監査委員	○	○	×	○	○	認定
認定第2号 平成24年度那須塩原市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監査委員	○	○	×	○	○	認定
認定第4号 平成24年度那須塩原市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	監査委員	○	○	×	○	○	認定
陳情第5号 高齢者外出支援タクシー券の存続を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	議長	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	採択
陳情第7号 那須バイオマスプラントの悪臭に関する陳情書	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	不採択

【○】は賛成 【×】は反対 【欠】は欠席 【不】は不在席

【会議録検索システム】稼働中!

会議録検索システムとは、定例会や臨時会の本会議における発言内容を、「開催年」や「キーワード」、「発言者」などで簡単かつ迅速に見つけ出すことができます。

会議録検索システムは、市議会ホームページからご利用できます。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

委員会の主な審査

予算審査特別委員会

■平成25年度那須塩原市一般会計補正予算(第4号)

―議案の概要―

平成24年度決算に伴う前年度繰越金の整理等のほか、各種政策課題及び放射能対策など喫緊の課題に対応するため11億6897万7千円を追加し、予算総額を497億967万5千円とするものである。

質疑 地域自殺対策緊急強化事業における、講演会の概要は？

答弁 講演会の場所や日程等については、これから検討するが、昨年2月に黒磯文化会館で行い450人が参加した。たくさんの方に聞いて欲しいと考えている。



昨年の講演会の様子

質疑 とうら保育園の移転までのスケジュールは？

答弁 今年度中に土地の契約と移管事業者を決定し、26年度に設計、27年度に建設し、28年度オープン予定である。



とうら保育園建設予定地(旧那須塩原警察署跡地)

質疑 新規事業、指定廃棄物、牧草隔離一時保管の工事請負費の内容と、これによって牧草関係の指定廃棄物が全て保管できる状況になるのか？

答弁 今回の工事は、牧草関係について放射線が漏れないよう、それぞれの敷地に廃棄物をまとめ、遮水シートや土のうで覆い、その周りにロープなどで囲いをするという内容であり、これで農林関係の廃棄物については、全て工事が終了する。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

■平成25年度那須塩原市介護保険特別会計補正予算(第1号)

―議案の概要―

平成24年度決算に伴う前年度繰越金の整理等のほか、第6期高齢者福祉計画策定のための日常生活圏域ニーズ調査等に対応するため1億199万4千円を追加し、予算総額を64億1242万5千円とするものである。

質疑 日常生活圏域ニーズ調査業務の内容は？

答弁 市内を10の生活圏域に区分けし、65歳以上を対象に日常生活で不便をきたしていることなどを調査するもので、全体で5千人を対象に実施するものである。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

総務企画常任委員会

■災害時相互応援協定の締結について

―議案の概要―

大規模災害発生時の広域的な応援体制を確立し、応急対応体制を強化するため「廃棄物と環境を考える協議会」に加盟する市町村との災害時相互応援協定を締結するものである。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

福祉教育常任委員会

■契約の変更について

―議案の概要―

塩原小中学校校舎改築工事において、地盤を掘削したところ、地下水の湧水及び大量のレンガが埋設されていたことが判明した。これらの除去処分について追加工事が必要となったため、変更契約を締結するものである。

質疑 レンガが出てきた経緯は？

答弁 かつて酢酸工場があり、それを解体した時に、使っていたレンガを土の中に埋めてしまったものである。

―委員会の結果―

全員異議なく可決すべきものと決した。

■高齢者外出支援タクシー券の存続を求める陳情について

―陳情の趣旨―

お年寄りの生活にどうしても必要な高齢者外出支援タクシー券を存続してほしい。

意見 この事業は単なる高齢者の足を確保するサービスではなく、高齢者の閉じこもり防止などを目的としていることから、いきなり廃止するのではなく、予約バスが代替になりうるかどうか実証したうえで、高齢者の意見を踏まえて検討すべき。

意見 タクシー券は誰にでも平等に配布されているわけではない。タクシー券を廃止することは非常にマイナスであることは十分理解するが、存続させるためには検討する部分が多い。

―委員会の結果―

賛成多数により採択すべきものと決した。

産業環境常任委員会

■那須バイオマスプラントの悪臭に関する陳情書について

―陳情の趣旨―

西岩崎の那須バイオマスプラントに効果的な臭気対策を行わせ、悪臭

被害軽減に取り組んでほしい。また、今後は法令の趣旨に沿い、実態に応じた建設の許認可が行われるよう改善してほしい。

意見 被害軽減に向け、全力を挙げて県、あるいは業者に対し、市を通して要望をしていくことについては賛同する。しかし、市の説明と異なる内容の部分があるため、慎重に考えなくてはならない。

―委員会の結果―

全員異議なく不採択すべきものと決した。

建設水道常任委員会

■市道N2-11（加治屋堀線）と那須疏水加治屋堀の間の路肩改修並びに道路拡幅に関する請願について

―請願の趣旨―

市道N2-11（加治屋堀線）の国道4号から県道までの約1・9キロメートルの区間について、路肩を改修し、拡幅してほしい。

意見 非常に危険を伴うように感じる。拡幅をして改善を図っていくのが望ましい。



市道N2-11（加治屋堀線）
（建設水道常任委員会現地調査）

―委員会の結果―

全員異議なく採択すべきものと決した。

■JR那須塩原駅東口におけるエレベーター設置に関する陳情について


―陳情の趣旨―

JRと協議を行い、JR那須塩原駅東口に、エレベーターを設置する計画を進めてほしい。

意見 エレベーター設置は以前から大きな課題である。駅のバリアフリー化は法律までできており、那須塩原市の大事な顔である駅にエレベーターがないというのは、まちづくりにおいて問題である。

―委員会の結果―

全員異議なく採択すべきものと決した。



【委員会録】配信中!

各常任委員会の会議録を配信しています。
付託議案に対する常任委員会内での審査内容をぜひご覧ください。

<http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

一般会計歳出決算額は**422**億円

形式収支で**24**億円

実質収支でも**21**億円の黒字決算

決算審査特別委員会は、9月17日・18日・24日の3日間にわたって開かれ、一般会計、特別会計、及び水道事業会計、合わせて11会計の歳入歳出決算について審査しました。

予算の執行状況や行政効果の確認などを基本に審査した結果、各会計の歳入歳出はいずれも適正に処理され、また、財産の管理、及び基金の管理運用等についても良好な執行が確認できたため、11会計すべてが認定すべきものとされました。

24年度 歳出決算

一般会計
特別会計

総額 654億円を認定！

日本経済は平成20年9月のリーマンショック、平成23年3月の東日本大震災、欧州の金融不安や歴史的な円高等数々の困難に直面し、景気の足踏み状態が続いていました。

昨年12月に発足した政権により大胆な金融政策等の経済対策が打ち出され、内需を中心に回復しつつあるとされていますが、地方では回復の実感が乏しいのも事実です。

このような状況の中、本市において平成24年度は、市民の健康と安全を守る放射能対策事業、市民の安全と財産を守る防災震災対策事業を重点とした予算が執行されました。

本市の一般会計と特別会計を合わせた決算額は、歳入688億2670万1149円、歳出654億2947万9788円であり、これを前年度と比較すると、歳入は8億727万1876円増の1・3%増で、歳出は1億

8647万654円増の0・3%増となっています。

歳入歳出差引額は33億9722万1361円で、このうち翌年度へ繰り越すべき財源2億1785万7500円を差し引いた実質収支額は31億7936万3861円です。

平成24年度の一般会計決算は、歳入決算額446億8213万1070円、歳出決算額422億8096万3925円、歳入歳出差引額24億116万7145円となり、翌年度へ繰り越すべき財源2億409万1500円を差し引いた実質収支は、21億9707万5645円の黒字決算となっています。

歳入決算額を平成23年度と比較すると5億5339万6665円減、の1・2%減少しています。これは、法人市民税や子ども手当負担金などの増額はあったものの、地方特例交付金、地方交付税、道路橋りょう費補助金、

社会教育施設災害復旧費補助金などの減によるものです。

また、歳出決算額については、平成23年度と比較して12億8111万1432円減の2・9%減少していますが、これは、自立支援法関連事業、放射能対策事業、中学校耐震改修事業、稲村公民館建設事業などが増額となったものの、施設振興公社運営支援事業、東日本大震災対応経費、畜産担い手育成総合整備事業、緊急経済対策キャッシュバックキャンペーンの皆減等による観光振興推進費などが減額になったことによるものです。

平成24年度の特別会計決算は、9つの特別会計の合計で歳入決算額241億4457万79円、歳出決算額231億4851万5863円、歳入歳出差引額9億9605万4216円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1376万6000円を差し引いた実質収支は9億8228万8216円で、平成24年度で廃止となった土地区画整理事業特別会計と公共用地先行取得事業特別会計を除く全ての会計で黒字決算となりました。

平成24年度の各会計決算状況

(単位：円)

会計名	決算額			
	歳入	歳出	差引額	
一般会計	44,682,131,070	42,280,963,925	2,401,167,145	
特別会計	国民健康保険	13,695,055,836	12,924,804,197	770,251,639
	後期高齢者医療	848,861,741	815,479,085	33,382,656
	介護保険	6,095,056,619	5,953,021,211	142,035,408
	下水道事業	2,963,705,794	2,933,939,540	29,766,254
	農業集落排水事業	97,883,593	93,623,614	4,259,979
	土地区画整理事業	254,409,134	254,409,134	0
	公共用地先行取得事業	14,348,342	14,348,342	0
	温泉事業	162,320,073	147,770,816	14,549,257
	墓地事業	12,928,947	11,119,924	1,809,023
小計	24,144,570,079	23,148,515,863	996,054,216	
合計	68,826,701,149	65,429,479,788	3,397,221,361	

(単位：円)

水道事業	収益的収入	2,493,123,756	収益的支出	2,231,505,142
	資本的収入	743,278,872	資本的支出	1,523,410,075

【※上記金額は消費税を含む。】

● 会派代表質問に2会派、市政一般質問に12議員

9月9日に会派代表質問、10日から12日の3日間に市政一般質問が行われました。それぞれの議員が様々な課題に対して活発な質問を行いました。質問内容の一部を要約し掲載致します。

会派代表質問 & 市政一般質問

議員質問席

9月9日

- ① 五峰クラブ 【磯飛 清 議員】 11
 (1)「住みよいまちづくり」について (2)「安心なまちづくり」地域医療について
 (3)「安全なまちづくり」子供の安全対策について (4)「安全なまちづくり」小中学校耐震改修整備について
- ② 志絆の会 【眞壁 俊郎 議員】 11
 (1)市長の市政運営について (2)公共交通について (3)教育施設等の改修について

9月10日

- ① 相馬 剛 議員 12
 (1)市のシンボルの市民への周知について (2)少年のスポーツ活動について
- ② 山本はるひ 議員 12
 (1)放射能除染対策について (2)ホームページによる情報提供のあり方について
 (3)協働の視点による国際交流のあり方について
- ③ 藤村由美子 議員 13
 (1)安全で便利なまちづくりについて (2)ゆ～バスについて
- ④ 佐藤 一則 議員 13
 (1)消防行政について (2)児童・生徒の登下校時の安全について

9月11日

- ⑤ 櫻田 貴久 議員 14
 (1)塩原温泉・板室温泉の再興について (2)行政サービス向上のための人材育成について
 (3)本市の10周年記念事業について
- ⑥ 若松 東征 議員 14
 (1)那須塩原市に有するJR3駅について
- ⑦ 星 宏子 議員 15
 (1)公共施設のバリアフリー化について (2)福祉行政について
- ⑧ 伊藤 豊美 議員 15
 (1)農業分野における放射能の対策について (2)市境における排水路整備について

9月12日

- ⑨ 高久 好一 議員 16
 (1)ゆ～バスとデマンド交通について (2)高齢者外出支援タクシー券の存続について
 (3)見守りごみ回収について (4)小型家電の回収について (5)教育委員会のあり方について
- ⑩ 齊藤 誠之 議員 16
 (1)中心市街地活性化について (2)本市の「お祭り」について
 (3)学校給食に係る取り組みと緊急危機管理体制について
- ⑪ 平山 啓子 議員 17
 (1)健康でこころ豊かな暮らしの実現を目指して (2)不慮の事故から子ども・歩行者を守るために
 (3)西那須野駅東口送迎用駐車場について (4)道路整備について
- ⑫ 金子 哲也 議員 17
 (1)那須塩原市はどこへいくか～未来に向かって施策をどう描き展開していくか～
 (2)未来に向かっての個々の施策について

各議員の質問した内容を録画映像で配信しています。市議会ホームページをぜひご覧ください。

※ 各議員の掲載内容は、質問した議員自らが項目・問答の内容を選定しています。

◆ 9月議会傍聴者数	のべ	73人
◆ 9月議会インターネット中継アクセス数	のべ	1,853人

住みよさランキング

「全国94位」に対する分析・評価は

「定住促進計画」とは



磯飛 清 議員

問 定住促進の取り組みとして促進計画を策定することであるが構想を伺う。

答 企画部長 人口をいかに増やすかということから、定住を促進することが必要であると考え、現在計画策定を進めている。人々から選ばれるまち、人口の減らない都市づくりを目指す計画であり、特に、若い子育て世代の転入促進を図っていく計画である。現在は、プロジェクトチームを設置し、本年度内策定を目指して取り組んでいる。なお、9月補正予算には、ニーズ調査、マーケットリサーチ的な調査を含めた経費を計上しているところである。

問 「財政状況」について
平成24年度決算状況から見る財政状況について伺う。

答 市長 平成24年度の歳入歳出差引額における実質収支額は、全ての会計で黒字決算となっており、特に、一般会計では法人市民税の大幅な増額により、約22億円の増となっている。財政運営では、平成23年度と比較して、市債が23億円強減少。財政健全化判断比率は、全ての比率が基準を下回っており、総合的に判断して、財政状況はおおむね健全であると判断している。

問 東洋経済新報社による2013年版「全国812市区ランキング」の「住みよさランキング」で、全国789市、東京23区を含めた812市区において、本市は94位にランクされている。その分析と評価を伺う。

答 市長 全国94位であり、栃木県内では宇都宮市に次いで、第2位の評価である。4年前の240位と比較すると、年々急上昇している市といえる。ランキングでは、人口の増減が指標の大きな比重を占めているため、将来の人口減少社会を見据えた施策を速やかに実施していく必要がある。そのため、市が置かれている状況を把握し、地域の特性を生かして個性を明確にし、人口が減らない市の実現に向けて、定住促進の取り組みを戦略的に実施する必要があると考えている。

医療・消防等における地域ネットワーク

市が推進する広域行政の検証と今後の進め方は



眞壁 俊郎 議員

問 那須赤十字病院の財政支援、那須地域消防の合併による広域化、八溝山周辺地域定住自立圏構想への参加など、広域行政を推進しているが、これまでの検証と今後の進め方について伺う。

答 市長 那須赤十字病院については、県北保健医療圏の地域医療支援病院として、安全で安心な質の高い地域医療の充実を今後も期待している。那須地域の組合消防本部の合併については、消防の広域化協議会が設置され、一定の方向付けが示されたことで、本市において2つの消防本部が管轄するという変則的な状態が解消されることは意義のあるものと考えている。2つの消防組合を統合することによるスケールメリットの確立が図れるよう平成27年の広域化実施のスタートに向け、各種の協議を進めている。

八溝山周辺地域定住自立圏構想においては、今年12月の協定締結に向け2市6町で協議中である一方、本市が定住自立圏構想における中心市としての要件を新たに具備したことに伴い、本市が中心市を担った場合について検討を進めている。今後においても、近隣市町との連携により、市民サービスが一層向上するよう、事業については経費負担を勘案しながら、関係市町と協議、検討を詰めていきたいと思う。

新庁舎建設について

問 合併時の約束事である新庁舎建設について、市長の考えを伺う。

答 市長 本市における放射能汚染の影響等を鑑み、住宅除染等を最優先に取り組むことから延期せざるを得ないと考え、合併特例債の期間延長に伴う新市建設計画の見直しの中で再度検討したい。

学校におけるエアコン設置について

問 学校におけるエアコン設置について伺う。

答 市長 ここ数年の傾向として、30度を超える真夏日が増えていく状況から、平成26年度において扇風機設置を計画しているが、児童生徒へのより良い学習環境を提供するため、エアコン設置の可否を含めた検討を進めて行きたいと思う。

人と自然がふれあう やすい暮らし

那須塩原のシンボルマークの市民への周知について



相馬 剛 議員

問 市歌制作の進行状況はどのようになっているか。

答 市長 今年6月に市の歌選定委員会を設置した。10月に歌詞の公募を開始し、合併10周年記念式典で発表を予定している。

少年のスポーツ活動について

問 小学校において、部活動とスポーツ少年団はどう区別し、どう組織化されているか。

答 教育長 単一の学校の子どもたちが構成員となっており、活動が重なるので、時間帯で調整している。

問 スポーツ少年団の育成という点で団と団員の数の推移は。

答 教育長 団数は横ばい、団員数は一昨年より減少傾向である。

問 平成23年9月6日の一般質問の答弁に、指導者の人材バンクを導入することを検討するとあったがその後どう進んでいるか。

答 教育長 指導者の人材バンクは他の自治体でも、制度はあっても機能していない状況であり、検討した結果、導入しない。

問 県の教育委員会は、マスターズボランティアプロジェクトとして教員を退職された先生に指導者要請しているが、本市の考えは。

答 教育長 実施には、協力いただける人材確保がポイントになる。

問 市の教育委員会が制定されている市は県内26市町のうち3市で、制定に関してこれまで検討されなかった。市民からも市民憲章の制定という話が出ていない。

答 市長 市民憲章については、合併時に、新市において定めるとされており、今後検討する。

問 企画部長 市民憲章が制定されていない市は県内26市町のうち3市で、制定に関してこれまで検討されなかった。市民からも市民憲章の制定という話が出ていない。

市民が安心して生活できる環境に向かっているのか

除染実施計画の検証と今後の対策について



山本はるひ 議員

問 一般住宅の除染について、除染後に十分な効果が得られなかった場合、どのような対応をするのか。

答 市長 国が行った除染モデル実証事業によると、同じ除染処理を繰り返しても、さらなる除染効果は期待できないという結果が出ている。国は、原則再除染を認めないとしているため、現時点では再除染は難しいと考える。

問 平成25年3月に示された除染実施計画(第4版)において、「除染関係ガイドラインに基づき除染を行い、十分な効果が得られない場合は、費用対効果を考慮し、市の単独事業で除染を実施する。」とあるが、再除染は難しいということに矛盾はないのか。また、表土除去をしない住宅で除染後0.23マイクロシーベルトまで下がらなかったところはなかったのか。

答 総務部長 低線量メニューだけでなく、市単独事業で18歳以下の子どものいる家庭では表土除去を実施している。除染の結果、上回っているところもあるのは事実である。

ホームページでの情報提供について

問 ホームページによる情報提供について、フェイスブックでは商工観光課と市民協働推進課で情報発信をしているが、今後の予定は。情報共有と市民参加は、協働の理念の根幹なので、わかりやすい正確な情報提供のできるホームページを目指していただきたい。

答 企画部長 フェイスブックは、多くの課で発信できるようにしたい。今後、新たな開設がなされると思う。

協働の視点による国際交流について

問 国際交流協会の果たす役目は何か。「多文化共生の地域づくり」の取り組みと推進体制は。

答 企画部長 国際交流協会が20周年なので、これを契機に会員自らが考え、行動していくことが必要だと思ふ。多文化共生の地域づくりとは、外国人も住民と捉え、地域社会の構成員として生きていくために必要なことを行っていくことで、今後は先進的な事例を参考にしながら進めていきたい。

安全で便利なまちづくりについて

明確なビジョンと、すべての計画の整合性を



藤村由美子 議員

の計画はそれぞれの部門で実施している。

ゆゝバスについて

問 ニーズ調査を行わないで、どのように市民が必要としている路線を判断したのか。

答 生活環境部長 ゆゝバス、予約ワゴンバス、民間バス、JRの連携をするというコンセプトに基づいて路線を決定した。市民からの電話、バス会社への要望も整理した。公共交通会議の中でも検討審議した。

問 安全で便利なまちとはどのようなまちなのか。

答 市長 市民が生活する上で必要な、市街地の土地利用の推進、計画的な市街地の整備、主要道路網の確立、良好な住環境づくり等の都市基盤の整備を行うことをめざしている。

問 那須塩原市総合計画と都市計画マスタープランと道路基本計画の整合性は。

答 市長 各計画間の整合性は図られている。

問 これらの計画の中にバス路線は含まれているのか。

答 建設部長 道路整備がバス路線や停留所と必ずしも一致するものではない。

問 本来一部署で総合的に計画されるべきと考えるが、市の考えは。企画部長 総合的な計画は企画部が主体となっているが、細部

答 生活環境部長 部署ごとではなく、総合的にお知らせすることを今後検討したい。

問 今後の公共交通についてきちんとビジョンを示した上で全体像が見える形で情報を提供してはどうか。

答 生活環境部長 側帯がほとんどないなどの場所が何か所ある。

問 危険なバス停などの問題点やバス停設置の要望は出ていないか。

答 生活環境部長 基本的にマイカーに乗ってくる人が大半だ。

問 地域公共交通会議のメンバー中にマイカーで移動しない人は含まれているのか。

答 生活環境部長 基本的な生活環境部長 危険な箇所という認識はないが、停留所の中には歩道がない、道路の幅員が狭い、路側帯がほとんどないなどの場所が何か所ある。

安全に安心して暮らせるまちづくり、なぐちはならない

消防団を安定的に維持していくために



佐藤 一則 議員

と活動の充実は欠かせないものであり、そのためには、団員の確保が最も重要と考える。広報紙での周知や自治会の募集依頼などにより団員の確保に努めていきたい。

児童生徒の登下校時の安全について

問 通学路になつている県道黒磯黒羽線の鍋掛小学校入口交差点の危険性をどのように捉えているか。

答 教育部長 市道石丸鍋掛線と県道が交差する部分には信号機の設置がなく、横断歩道の延長も長い

問 今後の改善対策はあるのか伺う。

答 教育部長 横断歩道の設置、信号機の移設により県道を直に横断する方法が望ましいと考えており、関係機関に強く要望している。

問 生活環境部長 信号機については、26年度の移設、設置を求め、那須塩原警察署を通じて県警本部に強く要望してある。

答 市長 全国的な消防団員の減少傾向は本市においても同様であり、消防団員の減少はそのまま市の防災力低下に直結する重要な課題だと認識している。本市の消防団組織は、厳しい訓練を積み重ねてポンプ操法競技会で毎年優秀な成績をおさめており、火災時の出動、各種災害警戒や不審火警戒などの防災行政において重要な役割を担っている。

問 今後の消防団活動の安定的な維持対策についての考えを伺う。

答 市長 市民生活の安全対策を推進する上で、消防団組織の強化



塩原温泉と板室温泉

温泉地の再興に向けた取り組みは



櫻田 貴久 議員

問 塩原温泉と板室温泉が持つ強みをどう捉えているか。また、誘客にどう取り組む考えか。

答 産業観光部長 千二百年以上の歴史と多彩な泉質を有する塩原温泉郷は、良質な温泉や美しい自然景観が強み。下野の薬湯と言われるすぐれた泉質を持つ板室温泉は、ゆとりや癒しを感じられる閑静な温泉街が強み。誘客に向けては、首都圏への良質なプロモーションやインバウンド戦略の推進、おもてなしなどの受け入れ体制の充実を図りたい。

問 アウトレットモールをはじめ本市を訪れる年間952万人の観光客を温泉地に誘導するために地元事業者と連携を図っているか。

答 産業観光部長 那須アウトレットには観光案内所を設置し、関係団体と連携したPRキャンペーンも実施している。今後はさらなる回遊の

仕組み作りを検討したい。

問 行政サービス向上のための人材育成の質の高い行政サービスを提供し、変化が求められる。職員の能力開発や資質向上、精鋭集団の確立に向けた取り組みと今後の計画を伺う。

答 市長 適材適所の効果的な人員配置、組織全体の底上げを図る人事評価制度、職員のモチベーションを高める職員提案制度、多種多様な充実した職員研修、これらを継続的に実施することにより、職員一人ひとりの知識やスキルを高め、より高いパフォーマンスを発揮できる精鋭集団の確立を目指したい。

問 合併10周年記念事業についての考えと具体的な計画を伺う。

答 企画部長 市民が那須塩原市の良さを実感でき、今後につながる事業を実施したい。事業の一つである市の歌制定に向けた取り組みが始まっており、その他の事業についても庁内の検討委員会で検討される。市民との協働、市民との一体感を踏まえた事業を展開したい。実施期間は、平成27年1月から28年3月までと考えている。

本市のPRに有効活用を

那須塩原駅、黒磯駅、西那須野駅の整備を願う



若松 東征 議員

問 那須塩原駅、黒磯駅、西那須野駅それぞれの東口、西口の整備状況及び今後の整備計画は。

答 市長 黒磯駅東口、西口広場は、黒磯駅前広場整備基本計画を平成25年度までに策定し、国の都市再生整備計画事業を導入して、平成26年度から平成30年度までの5カ年で整備を進める予定である。

なお、那須塩原駅及び西那須野駅については、東口、西口広場ともに整備が完了している。

問 那須塩原駅、黒磯駅、西那須野駅の各駅周辺における維持管理、清掃、草刈り、付帯設備の修繕等はどうに行っているのか。

答 市長 那須塩原駅、西那須野駅は那須塩原駅前広場運営協議会から、シルバー人材センターに委託しているが、黒磯駅西口は、大部分の土地がJR東日本の所有であること

から、管理もJRで行っている。東口広場については、臨時駐車場、駐輪場などがあり、必要に応じて施設担当課が維持管理している。

問 那須塩原駅東口、黒磯駅東口、西口にはエレベーターが設置されていない。バリアフリーの観点からも早急な設置が必要と考えるがいかがか。

答 市長 那須塩原駅東口については、県や近隣市町と連携して、JR東日本にエレベーター設置の要望を行っている。

問 那須塩原市の観光戦略における各駅の位置づけは。

答 産業観光部長 JRの3つの駅は、本市の観光地を訪れる観光客の玄関口という位置づけにあり、市の顔として好印象を与えることは、観光戦略としてとても重要である。

問 駅前広場は、各イベント等の実施や市のアピールには欠かせない空間である。各駅前広場の利用状況と今後の活用は。

答 産業観光部長 那須塩原駅の広場は、地域の盆踊りや初市、また巻狩まつりの出陣式に利用されており、観光客に対するPRや地域の活性化を図るために有効な場所である。今後も地域活性化に向けた取り組みを行いたい。

子どもの権利を尊重した

行き届いた福祉行政を望む



星 宏子 議員

問 障害のある児童、生徒のための
デイジー教科書が、平成22年度
から黒磯小学校で導入された。その
学習効果を伺う。

答 教育部長 この教科書の使用に
より、読むことへの抵抗感が軽
減し、学習に対して自信が持てるよ
うになったなどの効果があった。

問 小中学校の学習補助教材として
導入する予定があるか伺う。

答 教育部長 通常学級においても
必要とする児童の支援のために
デイジー教科書の活用を促進してい
きたいと考える。

公共施設のバリアフリーについて

問 公共施設のエレベーター設置の
現状と今後の取り組みについて
伺う。

答 市長 市の施設のうち17施設に
18台が設置されている。今後新
設する公共施設には、必要性を検討
しながらエレベーター設置も含め、
人に優しい施設となるよう配慮して
いきたい。

問 公共施設のバリアフリー整備の
現状と今後の取り組みについて
伺う。

答 市長 バリアフリー整備されて
いる施設は84施設。今後は、高齢
者や障害者等の積極的な社会参加に
配慮したバリアフリー化に努める。

問 難聴児が補聴器を購入する際の
補助はあるのか伺う。

答 保健福祉部長 新生児聴覚スク
リーニングテストの検査の結果、
聴覚障害やその疑いが認められた場
合には、必要なフオローアップを講
じている。

問 軽中等度難聴児への支援につい
て伺う。

答 保健福祉部長 支給基準の見直
しには、公平性や妥当性の十分な
検証が必要。専門家の意見も聞くな
ど相当の時間と努力が必要になる。

答 保健福祉部長 補装具費の支給
は、高度・重度難聴児は対象とな
るが軽中等度児は対象とならない。

原発事故以来自粛されているあぜ道等の枯れ草の焼却

農業分野における放射能対策について



伊藤 豊美 議員

問 現在、国の基準を上回る農作物
は那須塩原市にあるのか。

答 市長 現在本市において出荷自
粛となっている農作物は、栗、レン
コン、原木を用いたシイタケ、野生のキ
ノコ類や山菜等である。

問 あぜ道等の枯れ草を焼却するこ
とを自粛する有効性は。

答 市長 病害虫防除を目的として
近年は抵抗品種の作付けなど、病害
虫の発生を抑制することが可能に
なってきた。したがって、昨年度に引
き続き、県の指導のもと農業関係団
体と協議、検討を行うとともに、他市
町の動向も踏まえ、総合的に判断し
ていきたい。

問 農家はコメの等級下落を畦畔焼
きを自粛したことにあると考え、
来年度は焼却したいとの声が数多く
ある。このことについて伺う。

答 産業観光部長 従来から県の見
解は畦畔焼きによる病害虫の防
除の効果は低いと言われている。本
年度も周辺への農地の影響や市民な
どからの懸念の声などがあることも
念頭に置きながら、県や近隣市町の
動向を踏まえ、総合的に判断したい。

問 大田原市側では、弥六堀周辺地
域の圃場整備事業の推進につい
て発起人会が立ち上げられたが、市
は承知しているか伺う。

答 産業観光部長 過日、大田原市
の担当部局より説明があり、練
貫、鴻巣及び大田原市内に土地を所
有する三本木地区の各代表者により
立ち上げられたことは承知している。

問 弥六堀周辺地域の圃場整備事業
が進めば数多くの那須塩原市民
の地権者へも声がかかると思うが、
大田原市と協力体制がとれるのか。

答 産業観光部長 当該事業が円滑
に進むよう、綿密な連携を図り
ながら適切に対応していきたい。

問 近い将来、本市側の近隣周辺に
おいて、道路や圃場整備等につ
いて市民から要望があった場合、市
は積極的に対応できるのか。

答 産業観光部長 地元の皆様と協
議、検討を行うなど積極的に対
応していきたい。

運行が開始される予約ワゴンバス

市民が望むデマンド交通の導入を求める



高久 好一 議員

問 多くの自治体がデマンド交通を導入する中、予約ワゴンバスと名を変えた市の対応に、計画の後退を懸念する市民も多い。市民が望むデマンド交通を導入する考えは。

答 生活環境部長 ゆゝバスと予約ワゴンバス、さらにJRや民間バスとの接続・連携を図ることで市民生活の利便性を向上させたいと考えている。ドアツードアの運行を導入する考えはない。

問 市は予約ワゴンバスというシステムをどこから導いたのか。他の自治体での事例や実績はあるのか。

答 生活環境部長 予約ワゴンバスの名称は他にないと思う。経費を少なくして地域全体に張り巡らせることで利便性を高めたい。

問 高齢者タクシー券の廃止について 高齢者外出支援タクシー券が9月末で廃止されようとしている。

存続を求める市民の声をどう受け止めているか。また、意向調査もせずに廃止するやり方は順当と考えるか。

答 保健福祉部長 市に意見が出された利用者には直接廃止の経緯を説明し理解を得たと考えている。廃止に至る背景については、3月と6月の議会答弁のとおり理解してもらいたい。

問 教育委員会のあり方について 全国の首長、教育長を対象に実施された教育委員会のあり方に関するアンケート調査に市はどう回答したのか。

答 市長 教育委員会制度の弊害や短所として指摘されている合議制について、首長の制約になっているか、事務執行の遅滞を招いているか、教育委員会の責任が不明確になるかなどの質問があり、すべてにそうは思わないと回答した。

問 教育条件の整備は行政が行うこと。教育方法や教材採択は、現場の教師や子どもたちの意見を尊重し、行政は抑制的であるべき。市の考えを伺う。

答 教育長 教育基本法第16条の趣旨に沿って、教育委員会と学校が適切な役割分担と相互協力のもと、公正かつ適正に教育行政を行っている。

子どもたちに安心・安全な給食を

学校給食の危機管理体制について



齊藤 誠之 議員

問 本市の学校給食における安全管理と有事の際の危機管理体制について伺う。

答 教育部長 安全管理については、調理施設における衛生管理の徹底に加え、本年度から調理員に対するノロウィルス検査を実施している。危機管理については、異物混入や食中毒などの事故があった際の関係機関との連携体制がすでに構築されている。また、今般の異臭問題のように主食提供が停止となる場合の相互応援体制が整ったと報告されており、機会があれば運用の検証も行いたい。

問 「お祭り」の安全管理・危機管理は福知山の事故を受け、本市のお祭りにおける安全管理や危機管理の体制について伺う。

答 産業観光部長 事故を教訓とし、特に火器を取り扱う出店者・団体には、警察・消防とも連携して安全

管理の徹底を図りたい。

問 今年のふれあいまつりのように雷、ゲリラ豪雨があった際の指揮体制についての考えを伺う。

答 西那須野支所長 危機管理には「危険を予測し回避する」と、「危機にいかに対応するか」の2段階があり、情報を収集・分析して判断することが求められる。さらにそれを速やか、かつ的確に関係者や来場者に知らせ、必要により安全に避難できるように誘導する体制が必要である。今後十分に検証し、来年に向けて安全管理体制を構築したい。

問 中心市街地活性化事業について TMO構想におけるにぎわい創出のためのソフト事業について、今日までの取り組みと成果、課題について伺う。

答 市長 まちづくり活性化推進事業では、人材育成や一体感の醸成、市街地景観の形成に成果を上げている。地域創造支援事業では、集客やにぎわいづくりに成果を上げていく。イベント等のにぎわいが地域全体の活性化や商店会の売り上げに必ずしも結びついていないことが課題。今後、商工会や(株)まちづくり西那須野と綿密に連携し、活性化に向けた取り組みができるように支援をしていく。

健康で心豊かな暮らしの実現を目指して

第2期那須塩原市健康いきいき21プランを検証



平山 啓子 議員

問 健康寿命を延ばすための、本市の政策を伺う。

答 市長 食生活や運動など望ましい生活習慣を身につけ、健康管理に留意するなど、生涯を通しての健康づくりを進めることが重要であり、健康づくりの方向性や目標を設定し、ライフステージに合わせた取り組みを展開している。

問 働き盛りの壮年期死亡を減少させるため、特に、がん死亡率の減少に関する取り組みについて伺う。

答 市長 検診案内の徹底、クーポン券の発行及び受診勧奨を行っている。子宮頸がん検診にHPV併用検査を導入、平成26年度からは胃がんハイリスク検診（ABC検診）の実施も予定している。

問 胃がんハイリスク検診（ABC検診）の導入にあたり対象者をどう考えているか伺う。

答 保健福祉部長 40歳から5歳刻みで74歳までと考えている。

問 社会生活を営む上で必要な機能を維持するために大切な心の健康についての取り組みを伺う。

答 市長 カウンセラーが面接相談する「こころの相談」を毎月1回実施。また、心の健康度を携帯電話等で確認できる「こころの体温計」をホームページに開設している。さらに65歳以上の方には、日常生活で必要な機能の状態を確認する基本チェックリストを毎年度送付し、生活機能が低下している高齢者、閉じこもりやうつ傾向にある高齢者の早期発見、把握に取り組み、必要に応じて社会参加への意欲や生きがいなどを見いだせるよう支援している。

西那須野駅東口送迎用駐車場の利用

問 送迎用駐車場の利用は、市が定めている20分以内の駐車車とは異なり、目的外駐車で長時間利用されている状態である。今後どのように改善していくのか伺う。

答 建設部長 長時間駐車が見られるため利用実態調査を随時実施し、長時間利用者の特定を行い、改善を求めている。今後は、他の市営駐車場と同様に条例に基づき使用料を徴収する駐車場への転換についても検討していきたい。

那須塩原市はどこへ行くのか

未来に向かって施策をどう描き展開していくのか



金子 哲也 議員

問 那須塩原市の将来を考える時に、20年、30年、さらに50年を視野に入れた上で現状の問題やこれからの課題に取り組んでいかなければならない。那須塩原市の住み良さ、利便性、快適さ、文化などを、今後どのように伸ばしていくのか。

答 市長 将来の人口減少、超高齢化社会の到来による生産年齢人口の減少や、老年人口の増加を見据え、限られた予算の中で漫然とした施策を実施していくものではなく、持続可能な社会の構築を進めていくためにも、前例にとらわれずに、積極果敢に変革に臨む。そのために、考え方が内向きから外向きへの施策になるよう心掛けていくが、外部との接触を多くして、気づきの政治を行うための条件を整えて実践したいと考えている。具体的には、公益法人ふさと財団の地域再生マネジャーによ

る地域診断を受けたことや、本市観光の活性化のため政策審議官を公募し採用したこと、あるいは国際交流の推進のために外国人青年招致事業でフランス人を招致したことなどである。これは、一見奇抜に見えるかもしれないが、「遠きをおもんばかりなき者は必ず近き憂いがある」という論語の一節にあるように、目先のことだけを考えていてはあつという間に憂いが迫るものであるから、その政策は必要であるとの強い信念を持ち進めている。

問 未来に向けて教育と文化の向上がとも重要である。学校教育において、これからの子どもたちにも力を入れる部分は何か。また、文化や芸術面ではどれだけの力を注ぐのか。

答 教育長 社会のさまざまな変化に対応できる基礎基本を身につけ、自ら学び考え、判断できる能力、他人と協調し、思いやる心や感動する心、さらにはたくましく生きるための力を育成する。

また、文化・芸術については、中学2年生を対象に市民オペラ鑑賞や、演劇鑑賞教室など、子どもたちが優れた芸術に親しめる環境づくりを進めている。

産業環境常任委員会・建設水道常任委員会

塩原地域の現況調査を実施

平成25年9月19日、塩原温泉観光協会の協力のもと、産業環境常任委員会と建設水道常任委員会の合同による塩原地域の現況調査を行いました。

塩原温泉観光協会では、今年度は3つの事業を検討し、推進しているとのことであり、当委員会はこれらの事業の現地に赴き調査をしました。一つ目は、「塩原温泉のガマ石園地から夕の原間の旧国道400号の有効利用」についてです。塩原溪谷の中でも最も美しい全長3キロの区間の景色が、国道400号下塩原バイパスの第一トンネルと、将来完成予定の第二トンネルを通ることによって見られなくなってしまう。塩原温泉観光協会からは、国道400号下塩原バイパスができることで、市道となり交通量が少なくなる旧国道400号を観光道路として利用できるよう模索していききたいとの説明がありました。

現在模索しているものには、一般車両の通行のほかに、遊歩道やサイクリングコースを整備したり、自然にやさしい電気自動車や馬車などを活用したりすることにより、観光客に「ゆっくり・のんびり」過ごして頂けるような観光道路の構想を練っているとのことでした。

また、交通量が減り人の目がなくなると、ゴミの不法投棄が増えてしまうが、観光道路にすることで、不法投棄を防止する二次的な効果が期待できるとのことでした。

二つ目は、「もみじ谷大吊橋が架かる塩原ダム湖の有効利用」についてです。塩原温泉観光協会からは、塩原ダムをボートやカヤック、そして釣りなどのアウトドアを楽しむ場として利用し、観光資源の一つにしたいとの説明がありました。

また、観光名所のもみじ谷大吊橋が、同じ構造の吊橋が新たにできることで長さ「本州一」と名乗れなくなる状況下でも、塩原ダム湖を活用することで観光地としての魅力を高めていく可能性を感じ取りました。

三つ目は、「箒川の葦問題への取り組み」についてです。塩原の観光資源である箒川が、高さ2メートルにもなり生い茂る葦によって大きく景観が損なわれており、観光客からは「川遊びに川に入れない」、「川を見ても感動しない」など、大変不評であるとの説明を受けました。

現地調査後の委員と塩原温泉観光協会との意見交換の場では、地域住民の高齢化による草刈り活動の限界など、苦慮している現状について意見が出されました。

委員からは、学生や県の河川ボランティアを活用することなど、草刈りに対する提案のほか、地域の宝である様々な観光資源を活用することで、塩原を1分1秒でも長く滞在して頂けるような魅力ある地域とするため、塩原温泉観光協会の皆さんと共に真剣に取り組んでいきたいとの意見がありました。



旧国道400号視察の様子
(回顧園地付近)



塩原ダム湖視察の様子



意見交換の様子

市議会 Report

視察の 受け入れ 状況について

那須塩原市議会では、委員会や会派において「先進地視察」を行うことで、政策提言や議案の審議能力向上に努めております。

一方、全国各地の議会からの視察も受け入れており、前年度は16件、今年度の上半期では6件の視察の申し入れがありました。(下図参照)

その中で、当市議会の取り組みに対する視察が2件あり、7月22日の栃木県さくら市議会及び8月7日の長崎県諫早市議会の視察に対しては、議長、副議長をはじめ、議会活性化検討特別委員会や議会運営委員会の委員長と副委員長が対応しました。

双方で活発に意見が交換されるなど、受け入れた当市議会にとって、他議会の運営や取り組みを知る貴重な機会となりました。



栃木県さくら市議会との意見交換会の様子

【上半期（平成25年4月から9月末まで）の視察受け入れ実績】

来訪日	来訪者	視察内容	視察対応担当
4月26日	東埼玉資源環境組合議会	ごみの減量・資源化の取り組み、那須塩原クリーンセンターの運営について	那須塩原クリーンセンター
5月13日	千葉県君津市議会	シルバーファーマー制度について	農務畜産課
5月14日	北海道北見市議会	市立図書館の指定管理者制度導入について	生涯学習課 西那須野図書館
7月22日	栃木県さくら市議会	政治倫理条例について（意見交換会）	議会事務局 議事課
8月2日	大分県大分市議会	農観商工関連推進事業について	商工観光課
8月7日	長崎県諫早市議会	議会基本条例の実践について	議会事務局 議事課

INFORMATION

インターネット録画映像配信中！

本会議の様様（録画映像）をホームページでご覧いただくことができます。
本会議中は生中継も配信しておりますので、ぜひご利用ください。

※この議会中継は那須塩原市の公式記録ではありません。
公式記録は会議録でご確認ください。

※アクセスが集中した場合や、ご使用になるパソコンの性能・利用環境によっては、正常にご覧いただけない場合がありますので、あらかじめご了承ください。



※この録画中継は、那須塩原市議会の公式記録ではありません。
公式記録は会議録でご確認ください。
※録画中継は、Microsoft社のWindows Media Player（または同等のソフト）が必要です。お持ちでない場合はMicrosoft社のホームページから入手し、インストールしてください。
※本システムは、旧第一第二会議場のカメラで構成されています。そのため入会者他は、会議室の一部異なる場合がございます。
※録画中継を始めた時刻同時刻に開始し、終了時刻まで配信が停止いたします。

議会を傍聴してみませんか

定例会は**3月・6月・9月・12月**に開催されます。

次の定例会(12月議会)は、**11月29日(金)開会予定**です。

詳しい内容は**随時ホームページ**でお知らせいたします。

➡ <http://www.city.nasushiobara.lg.jp>

【編集後記】

猛暑の勢いがやっと衰え始めた頃から夢中で議場に通り詰めているうちに、ふと気づけば庁舎の窓から見える景色も秋の空に。この議会だよりが市民の皆様のお手元に届くころには、さらに秋も深まっていることでしょう。

9月議会で平成25年度の補正予算と平成24年度の決算審議が行われている間に飛び込んできたのは、2020年東京五輪の開催決定と惑星分光観測衛星イプシロンが無事宇宙に飛び立ったニュースでした。

イプシロンロケットで打ち上げた惑星観測衛星「スプリントA」は、「ひさき」と名付けられたそうです。打ち上げ場所にある地名「火崎」と観測対象の惑星が「太陽(ひ)の先」であることがその名の由来だとのこと。遠い宇宙の先に「ひさき」の視線は向いているのですね。つい足元ばかりに目を向けがちですが、たまには遥か遠くに視線を向けて背筋を伸ばし希望を持っていきたいものです。

さて、市民の皆様を乗せた「那須塩原ロケット」も、希望をいだいて飛んでいきたいですね。那須塩原市議会は、市民の皆様の生きた声を届けて、その軌道が外れないようにしてまいります。(藤村)

議会だより編集委員会

委員長 高久 好一 副委員長 鈴木 伸彦
委員 藤村由美子 星 宏子 齊藤 誠之
佐藤 一則 松田 寛人 若松 東征

議 会 日 誌

7月	9日	議会活性化検討特別委員会
	18日	議員全員協議会
	22日	放射能対策検討特別委員会 栃木県さくら市議会来訪
	30日	議会活性化検討特別委員会 議会だより編集委員会
8月	2日	大分県大分市議会来訪
	5日	議会活性化検討特別委員会
	7日	長崎県諫早市議会来訪
	22日	議員全員協議会 議会だより編集委員会
	30日	議会運営委員会 議会活性化検討特別委員会
9月	6日～25日	平成25年第5回那須塩原市 議会定例会
	6日	放射能対策検討特別委員会
	9日	議会報告会班長会議
	13日	放射能対策検討特別委員会
	17日	産業環境常任委員会現地調査
	18日	福祉教育常任委員会現地調査
	19日	総務企画常任委員会現地調査 産業環境・建設水道常任委員会 合同現地調査
	20日	放射能対策検討特別委員会 産業廃棄物対策協議会幹事会
	24日	議会運営委員会 議員全員協議会 議会だより編集委員会
	25日	議会活性化検討特別委員会

♣ 読みやすく、親しみやすい紙面づくりのために、ぜひご意見をお聞かせください。

♣ 議会だよりに関するお問い合わせ・ご意見、または音声版議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

【E-mail】 gikai@city.nasushiobara.lg.jp

【TEL】 0287 (62) 7181